



セゾン投信 月次運用レポート

長期投資家の皆様へ

GW直前の日銀金融政策決定会合で、追加緩和が見送られたことで、日本株市場は期待先行の反動から大きく失望下落して、同時に円が買い戻され円安方向への流れも途切れてしまいました。

日本経済の回復基調は、現在すっかりネガティブムード優勢で、停滞の踊り場に入っています。アベノミクス以来の円安トレンドが途絶えて、今年度の企業業績はマイナス予想に転じた上に、消費税増税の先行きも未だ不透明な中で、株式市場の期待は日銀の緩和頼みに偏っていたのです。

かように国内は憂鬱な気分が蔓延気味ですが、海外ではいろんな課題山積ながらも、原油安の一服で、米欧株式市場は気が付けば、今年の高値圏近辺までリバウンドして来ています。

やはり現在の世界経済を下支えする米国景気の堅調さに起因していて、雇用が安定して増え続ける中、賃金上昇率も高まり始め、消費も安定して拡大しています。欧州でも企業業績は底打ちで、グローバルな経済環境は決して悪くはありません。

目先の金融市場は、ずっと原油価格の上下に一喜一憂を繰り返して、荒っぽく動いて来ましたが、資源価格の低位安定は、大半の事業活動にも個人消費にとっても大きな恩恵で、日本でも航空運賃が燃料サーチャージを廃止し、GWにはマイカー遠出が増えるなど、その効用が日常生活にも顕在化しつつあります。

あらゆる事象には、必ず光と影があります。気分が沈滞している時は、影の部分だけが強調されて、相場を弱気に傾けますが、そんな時こそ冷静に、光と影の両面を俯瞰する長期投資家の目と胆力が、何より大切なのです。

世界経済は、今年も厳しい環境と言われながらも、想定内の巡行速度で成長を続けることでしょう。「セゾン号」の長期投資にとっては、マイナス金利時代だって必ずしも悪い環境ではないわけで、地球経済の成長軌道が損なわれぬ限り、セゾン流長期投資は何も変わることなく、様々な不確実性にしっかり目配りを怠らず、高い規律を保った投資行動を継続しています。

中野 晴啓

ご留意事項

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口 : 03-3988-8668 (受付時間 9:00~17:00 土日祝日、年末年始除く)

セゾン資産形成の達人ファンド

4月の市場動向

株式：【景気の先行きに対する懸念が後退するなかで、原油価格の上昇を受けてリスク回避姿勢が後退して上昇】

先進国で金融緩和の長期化観測が広がると共に、米国や中国で景気の先行きに対する懸念が後退するなかで、中盤に開催された産油国の会合では原油の増産凍結が合意されなかったものの、原油価格が上昇基調となったことからリスク回避の動きが弱まり、上昇しました。

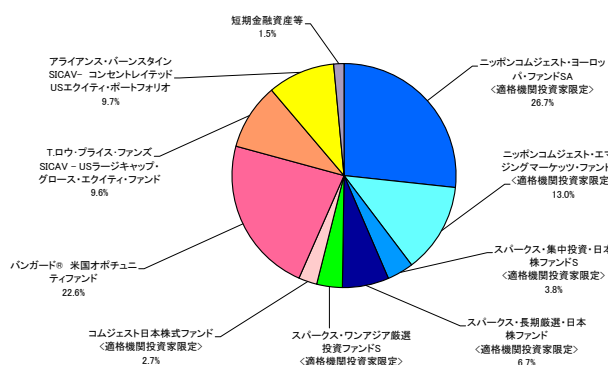
為替：【金融緩和の長期化観測を背景にドルやユーロは軟調。円は大きく上昇し、対ドル、対ユーロで円高】

ドルやユーロは金融緩和の長期化観測を背景に軟調な展開となり、ドルは米国政府がドル高への警戒を強めていることからユーロに対しても下落しました。円はデフレからの脱却への期待が後退するなかで、月末に追加の金融緩和が見送られたことを受けて大きく上昇しました。

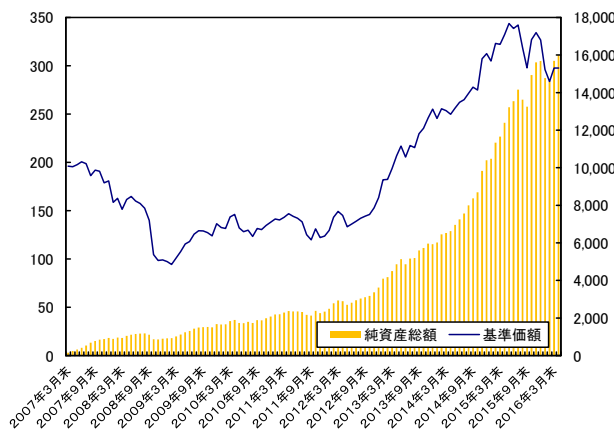
基準価額と純資産総額及び騰落率（2016年4月28日現在）

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
15,313円	311.0億円	+53.13%	+0.06%	-8.99%	-10.42%

資産配分状況(2016年4月28日現在)



純資産総額(億円) 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次) 基準価額(円)



4月の運用状況

今月の投資スタンス

今月は、定期積立プランでのご購入などにより、皆さまからお預かりした資金を利用して、コムジストヨーロッパファンド、バンガード米国オポチュニティファンド、T.ロウ・プライス米国大型グロースファンド、スパークス・ワンアジア・厳選投資ファンド、コムジスト日本株式ファンド、アライアンス・バーンスタイン米国株式集中投資ファンドへの投資を行いました。なお、現金比率は前月と変わらず、月末時点で1.5%となっております。

ファンドマネジャーからの一言

中国の金融市場の混乱への懸念が後退したことや、原油市場が上昇したことなどを背景に株式市場は徐々に落ち着きを取り戻してきました。しかし、株式市場や為替市場には様々な思惑を持った参加者が参加しており、時には多くの投資家が同じような視点や思考で一斉に行動することがあることから、投資を続けていく過程では、思いがけず大きな変動に見舞われることがあります。

その影響を受けて、ファンドの基準価額も短期的に大きく変動しますが、当ファンドでは、価値が価格に織り込まれる為に必要な長期の投資期間が許容されることを前提に、投資先ファンドが持つ企業の評価に関する高度な専門性を活用して、将来における企業の価値と現在の価格の差に注目して投資を継続的に行うことで、安定した収益を得ることを目指して、お預かりしている資産の運用を行っております。

当ファンドでは引き続き、地域的な分散を意識して資産配分を行うと共に、投資先ファンドを通じて、安全性や長期的な収益力を基準に銘柄の選別を行い、短期的な市場の動向ではなく投資対象の価値を重視して株式投資を継続することで、リスクを抑えながら皆様の長期的な資産形成に資することが出来るよう努めて参ります。

運用部 瀬下 哲雄

基本的な投資スタンス

私共が投資対象としているファンドは、いずれも中長期的な視点で投資を行っておりますが、保有している株式が割高となった場合やより良い投資機会を発見した場合、投資先の状況に大きな変化があった場合等については銘柄の売却を行うことがあります。もちろん、どのファンドも長期投資の理念を共有しており、短期的な売買を繰り返すことはありません。

私共は各投資対象ファンドについて、各ファンドがカバーする銘柄選択の対象を幅広くすることを意識しながら目標とする地域及びファンド毎の配分比率を決定します。その上で、主にファンドの購入により配分比率の調整を行っております。もちろん、短期的な市場動向の予測に基づいて投資先ファンドの売買を行うことはございません。

当ファンドでは、各投資対象ファンドがファンダメンタル分析に基づく中長期的な視点から各銘柄への投資を行い、その上で私共が十分に国際分散を図ることができるように資産配分を行うことで、皆様の長期的な資産形成に資するよう運用を行っております。

当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当ファンドに係る手数料について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

◆申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

◆解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.5832%（税抜0.54%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.35%±0.2%（概算）となります。

その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）、監査報酬（消費税含む）および立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

当該手数料の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口：03-3988-8668（受付時間 9:00~17:00 土日祝日、年末年始除く）